

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	新幹線・まちづくり課
会議名 (審議会等名)	第1回嬉野市地域公共交通活性化協議会・嬉野市地域公共交通会議		
開催日時	令和6年6月25日(火) 15:30~16:40		
開催場所	うれしの市民センター会議室 1-1, 1-2		
会議の公開の可否	☑ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	早瀬会長、馬場副会長、北川委員、井手委員、眞崎委員、宮崎委員、宮崎委員、神近委員、田島委員、山口委員、吉住委員、松尾委員、山本委員、桑原委員、草野委員、太田委員	
	事務局	新幹線・まちづくり課長、副課長、主事 各1名	
	その他	【オブザーバー】 九州運輸局佐賀運輸支局 運輸企画専門官	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度嬉野市地域公共交通活性化協議会決算書 ・ 令和7年度嬉野市地域内フィーダー系統確保維持計画 ・ 令和5年度嬉野市予約型乗合タクシー実証実験第2弾の結果について ・ 試験運行第3弾嬉野市予約型乗合タクシー告知資料 ・ 令和6年度の事業計画及びスケジュール ・ 嬉野市地域公共交通計画の一部 ・ 嬉野市予約型乗合タクシー乗降場所の追加について ・ 地域公共交通の「リ・デザイン」に向けた制度等について 		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	新幹線・まちづくり課
議 題	<p>・嬉野市地域公共交通活性化協議会</p> <p>(1) 令和5年度嬉野市地域公共交通活性化協議会決算認定について</p> <p>(2) 令和7年度嬉野市地域内フィーダー系統確保維持計画<乗合タクシー春日線・大野原線計画>(案)の認定について</p> <p>・嬉野市地域公共交通会議</p> <p>(3) 令和5年度嬉野市予約型乗合タクシー実証実験第2弾の結果について</p> <p>(4) 令和6年度の事業計画及びスケジュールについて</p> <p>(5) 嬉野市予約型乗合タクシー乗降場所の追加について</p>		
内 容	<p>事務局により開会。</p> <p>下記審議経過のとおり審議がなされた。</p>		
審議経過		<p>1. 開会 事務局により開会</p> <p>2. あいさつ 会長あいさつ</p> <p>3. 嬉野市地域公共交通活性化協議会</p> <p>事務局 (1) 令和5年度嬉野市地域公共交通活性化協議会決算認定について</p> <p>事務局より案が示され、賛成多数で承認された。</p> <p>事務局 (2) 令和7年度嬉野市地域内フィーダー系統確保維持計画<乗合タクシー春日線・大野原線計画>(案)の認定について</p> <p>委員から以下のとおり質疑がなされ、事務局より回答を行った</p> <p>委員 春日線に比べ大野原線の利用者が極端に少ないがどのような要因が考えられるか。</p> <p>事務局 要因としては、沿線地区の人口や高齢化率の違い、また春日線については、通学としての利用があるものの、大野原線については、基本的に市街地へ通院、買い物等の利用がメインであるため、利用者が少ないといった状態である。</p>	

委員	<p>大野原線の利用者が少ないが、どのような利用促進をはかっていくのか。</p>
事務局	<p>佐賀県暮らしを支える移動手段奨励金を活用し、フリーデイの実施等を検討し利用促進を図りたい。</p>
会長	<p>事業目標達成のために行う事業として、バス停の環境改善や停留所等の標識の整備とあるが具体的にはどのようなことを行うのか。</p> <p>また事業目標の、1人当たりの運行コスト及び乗車率とはどのような考え方か。</p>
事務局	<p>バス停の環境改善や停留所等の標識の整備については前年度も実施していたが、定期的にバス停の見回り等を行い、時刻表等の適宜更新を行うことを予定している。</p> <p>1人当たりの運行コストについては、年間の運行収支を年間の利用者で除した数となる。乗車率とは、年間の利用者数を年間運行便数で除した数となる。</p> <p>以上で質疑は終了し、案については、賛成多数で承認された。</p>
事務局	<p>4. 嬉野市地域公共交通会議</p> <p>(3) 令和5年度嬉野市予約型乗合タクシー実証実験第2弾の結果について</p> <p>事務局より以下のとおり報告を行った。</p> <p>令和5年9月から令和6年3月にかけて予約型乗合タクシー実証運行第2弾を実施した。結果を分析したところ、利用件数は15件の15名であり利用率は4.3%と非常に低い利用率であった。利用促進に向け市報への掲示、塩田町への全戸配布等を行ったものの利用率の向上にはつながらなかった。さらなる広報を行っていく。また、現在第2弾の結果等をもとに、運行時間帯及び利用料金を変更し、現在実証運行第3弾を実施している。</p> <p>委員から以下のとおり質疑がなされ、事務局より回答を行った。</p>

委員	<p>利用率が低いことについて、どのような要因が考えられるか。また、現在第3弾実施中とのことだが、利用状況についてお伺いする。</p>
事務局	<p>塩田町では、久間地区であれば武雄方面、五町田地区であれば鹿島方面を生活圏としていることも要因の一つとして考えられる。また、乗車をする際は前日の17時までに事前予約する必要がある、そういった点も要因の一つとして考えられる。</p> <p>第3弾の利用状況としては、4月、5月ともに1件ずつといった状況である。</p>
委員	<p>利用者の増が見込めない中、今年度利用登録者数に変化はあるか。</p>
事務局	<p>今年度2名の登録があり、7月に乗降場所を増やすことに伴い新たに13名の登録があり、計15名の増となっている。13名の新たな登録者については利用増が見込めると考えている。</p>
委員	<p>他市町の公共交通会議にも出席しているが、一つの事例として公共交通を利用していない方を対象としたアンケートを実施しており、そのアンケートをもとに、普段公共交通を利用しない方がどうしたら公共交通を利用するのかといった分析をしているので、参考までに紹介させていただく。</p>
事務局	<p>(4)令和6年度の事業計画及びスケジュールについて</p> <p>事務局より以下のとおり報告を行った。</p> <p>嬉野市予約型乗合タクシーについては、現在第3弾を行っているものの、利用率が低いことから利用実績だけでの本格運行への移行は難しいところである。現在利用登録者へのアンケートを行っており、実証運行第3弾の実績及びアンケートの結果を考慮し、10月以降の運行を検討している。路線バス下吉田線および牛の岳線の見直しに向けた検討については、小学校へ多くの通学利用がある嬉野地区中心部へ向かう朝1便については引き続き定時定路線での運行とし、その他の便については、デマンド型タクシー等への転換を軸に、今年度までに方向性を固めていく予定である。路線バス三間坂線については、「日の出城バス停」から嬉野地区中心部までの運行ルートが路線バス嬉野線と完全に重複している状況である。ま</p>

	<p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>オブザーバー</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p>	<p>た、三間坂線については武雄市内を運行する区間が長く、路線を分割する「日の出城バス停」も武雄市内になることから、武雄市との協議を図りながら今年度においては、今後の見直しについて整理検討を行っていく予定である。</p> <p>(5) 嬉野市予約型乗合タクシー乗降場所の追加について</p> <p>事務局より以下のとおり報告を行った。 現在実証運行第3弾を実施している、嬉野市予約型乗合タクシーについて、五町田地区からの要望により、条件を整理したうえで、和泉式部公園駐車場を追加した。今後も各行政区より要望があった場合は、条件を整理したうえで乗降場所追加を検討する。</p> <p>5. その他</p> <p>佐賀運輸支局より、国土交通省の最近の制度及び会議等の説明</p> <p>6. 質疑応答・意見交換</p> <p>質疑及び意見交換なし</p> <p>7. 閉会</p> <p>事務局により閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
その他		